

日本臨床発達心理士会 中国・四国支部会報

Japanese Association of Clinical Developmental Psychologists

第7号(2007年1月30日発行)

発行 日本臨床発達心理士会中国・四国支部
編集 日本臨床発達心理士会中国・四国支部会報編集委員会
事務局 〒739-8524 広島県東広島市鏡山1-1-1 広島大学大学院教育学研究科附属幼年教育研究施設
TEL: 082-424-6884 FAX: 082-424-5261

目次

- 1 日本臨床発達心理士会中国・四国支部第4回総会のご報告
- 2 日本臨床発達心理士会中国・四国支部会報の改訂について
- 3 日本臨床発達心理士会中国・四国支部第7回研修会のご報告
- 4 日本臨床発達心理士会中国・四国支部第8回研修会のご案内
- 5 耳より中四情報
- 6 編集後記～会報企画へのご投稿を～

1 日本臨床発達心理士会中国・四国支部第4回総会のご報告

2006年度中国・四国支部総会を以下の通り行いましたので、ご報告いたします。

1. 日時 2006年6月10日(土)13:00～13:50
2. 場所 広島県立生涯学習センター
3. 議題

(1) 2005年度活動報告

下記のことについて承認されました。

支部総会の開催 2005年度活動計画及び予算などについて審議・承認
研修会の開催 5月(愛媛)と8月(広島)に支部主催の研修会を開催
会報の発行 4号, 5号の2回発行
事例報告会等の開催 広島, 香川にて開催
役員会の開催

(2) 2005年度会計報告

会計監査2名の監査報告とともに、下記の通り承認されました。

2005年度収支決算書(2005年4月～2006年3月)

科 目	予算額	決算額	増/減
収入の部			
1. 支部会費	126,000	126,000	0
2. 利子	0	11	11
3. 臨床発達心理士会補助金	0	200,000	200,000
仮 計	126,000	326,011	200,011
前年度繰越金	249,749	249,749	0
合 計	375,749	575,760	200,011

科 目	予算額	決算額
支出の部		
1. 研修会開催費	121,740	66,098
2. 郵送費	0	14,930
3. 事務費	1,000	2,307
4. 事例報告会等経費	45,000	12,000
5. 予備費	10,000	0
仮 計	177,740	95,335
次期繰越金	198,009	480,425
合 計	375,749	575,760

(3) 支部規程の改正について

「2 日本臨床発達心理士会中国・四国支部会規程の改正について」に掲載された規程案の通り承認されました。

(4) 2006年度活動計画案

下記のことについて承認されました。

総会の開催

研修会等の開催

会報の発行・ホームページによる情報の発信

事例報告会等の開催 各地域での開催の活性化

役員会の開催

その他必要な活動

(5) 2006年度予算案

2006年度予算案(2006年4月～2007年3月)

科 目	予算額	科 目	予算額
収入の部		支出の部	
1. 支部会費	166,000	1. 研修会等開催費	250,000
2. 利子	15	2. 郵送費	16,000
3. 臨床発達心理士会補助金	0	3. 事務費	3,000
仮 計	166,015	4. 事例報告会等経費	45,000
前年度繰越金	480,425	5. 予備費	20,000
合 計	646,440	仮 計	334,000
		次期繰越金	312,440
		合 計	646,440

(6) 役員の選出

下記の通り選出されました。

- 支部長 山崎 晃(広島)
- 副支部長 田中昭夫(島根), 深田昭三(愛媛)
- 幹事 山崎 晃(広島)
- 事務局長 七木田 敦(広島)
- 研修担当 石橋由美(岡山)
- ニューズレター・ホームページ担当 猪木省三(広島)
- 監査役 西山 修(岡山), 八島美菜子(広島)

(7) その他

特にありませんでした。

以上、総会出席者15名、委任状31名、計46名(支部会員総数83名)で、過半数(委任状を含む。)の出席により総会は成立いたしました。

2 日本臨床発達心理士会 中国・四国支部会規程の改正について

2006年6月10日の中国・四国支部第4回総会において、支部会規程の改正が承認されました。

主な改正点は、名称を「規定」から「規程」と改めたこと、第9条で支部会役員を事務局長、研修担当、ニューズレター・ホームページ担当に改め、これらの役員の任務を示したこと、第11条で事務局を事務局長の所属先におくように改めたことです。

改正後の規程は以下の通りです。

日本臨床発達心理士会中国・四国支部会規程

第1条（名称）

本会は、日本臨床発達心理士会 中国・四国支部会と称する。

第2条（目的）

本会は、日本臨床発達心理士の相互の連携を密にし、技能の向上を図るとともに、本会の健全な発展に寄与することを目的とする。

第3条（事業）

本会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

- 1) 支部会報の発行
- 2) 研修会・研究会等の開催
- 3) 研究大会の開催
- 4) ホームページの開設・運営
- 5) その他、前条の目的を達成するために必要と認める事業

第4条（会員）

1. 本会の会員は、正会員と準会員とする。
2. 正会員は日本臨床発達心理士とする。
3. 準会員は支部会が認めた者とする。

第5条（入会）

本会への入会は、原則として日本臨床発達心理士の資格取得時点とする。

第6条（事業等への参加）

会員は、本会が主催する事業および活動などに参加することができる。

第7条（総会）

1. 総会は、支部会正会員をもって構成し、事業・活動等の決定を行なう。
2. 総会は年1回開催し、会員の過半数（委任状を含む）の出席で成立するものとする。

第8条（会計・会計年度・会費）

1. 本会の経費は、会費等によって支弁する。
2. 本会の会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。
3. 会費は、年2,000円とする。
4. 収支決算については、総会において報告し、承認を得るものとする。

第9条（役員・選出方法・任期）

1. 本会には、次の役員をおく。
 - 1) 支部長（1名）
 - 2) 副支部長（2名）
 - 3) 幹事（1名）
 - 4) 事務局長（1名）
 - 5) 研修担当
 - 6) ニュースレター・ホームページ担当
2. 役員を選出は、正会員の互選とする。
3. 役員の任期は3年とし、再任を妨げない。
4. 支部長は、本会を代表し、会務を執行する。
5. 副支部長は、支部長を補佐する。支部長が不在の時には会務を代行する。
6. 幹事は、日本臨床発達心理士会幹事会に出席する。

幹事は会員の互選によって選出し、他の役員との兼務を妨げない。

7. 事務局長は、支部の会計及び事務に関わる事柄を統括する。
8. 研修担当は支部主催の研修等を計画立案する。
9. ニュースレター・ホームページ担当は支部の会報・ニュース等を配布し、ホームページの作成、維持・管理に当たる。

第10条（監査）

本会には、2名の監査役をおく。監査役は本会の事業及び会計を監査する。

第11条（事務局）

本会の事務局は、事務局長の所属先におく。

第12条（規程改定）

本規程の改定は、支部会総会に出席した正会員（委任状を含む）の3分の2以上の同意を得るものとする。

附則 本規程は2003年4月19日から施行する。

改正 2006年6月10日

3 日本臨床発達心理士会中国・四国支部第7回研修会のご報告



2006年6月10日(土)、広島県立生涯学習センターにおいて、中国・四国支部第7回研修会が行われました。講師に土田玲子先生（県立広島大学保健福祉学部作業療学科教授）をお迎えし、「LD、ADHD等の発達障害を持つ児童に関する発達支援の方策とその効果について」と題しご講演いただきました。

当日は、LD（学習障害）、ADHD（注意欠陥・多動性障害）、アスペルガー症候群の子どもについて、実際に相談と支援にあたっておられる先生ならではのお話を聞かせていただきました。これらの障害をもつ子どもの特徴について具体例を挙げながら紹介され、また、これらの子どもに関わる大人が陥りやすい状況についても取り上げられました。さらに、二次障害について具体例をあげながらお話をいただきました。その後、支援のあり方について、支援の三大法則（子どものまわりを変えよう、子どものいいところを伸ばそう、子どもの苦手な部分は隠し技で育てよう）、支援のポイント（早期発見・早期対応、二次障害の予防に力を入れる、家族・担任支援の重要性）を中心に、実践的な示唆をいただきました。

フロアでもこのような子どもたちに対する対応の難しさについて意見交換が行われる中、土田先生からも具体的なアドバイスをいただき、充実した研修会となりました。

参加者数は19名、臨床発達心理士会各支部主催研修会として、資格更新ポイントは1ポイント（3時間）でした。

4 日本臨床発達心理士会中国・四国支部第8回研修会のご案内

中国・四国支部の活動として下記の通り研修会を開催いたします。何かとお忙しい時期ですが、たくさんの会員の方々のご参加をお待ちしております。

1. 日 時 2007年2月4日(日) 13:00～16:00
2. 場 所 岡山県ゆうあいセンター(岡山駅より徒歩10分)
岡山市南方二丁目13-1 岡山県総合福祉・ボランティア・NPO会館
TEL: 086-231-0532
3. 講 師 川間弘子先生
(NPO山口発達臨床支援センター, 臨床発達心理士・言語聴覚士)
4. 演 題 「発達アセスメントから支援へ」

5 耳より中四情報

各地区・地域での研究会、勉強会などを開催される場合に、開催費の補助が出ます。くわしくは、支部事務局までお問い合わせ下さい。



6 編集後記～会報企画へのご投稿を～

中国・四国支部のホームページを開設しました。お気づきの点、感想などありましたら、お知らせ下さい。URLは、<http://www.geocities.jp/jacdpcs/>です。

支部会報では、今後も支部の会務報告や研修会報告・ご案内の他、会員相互の情報交換等にも役立てて、バラエティのあるフレッシュな紙面作りをしたいと願っています。そこで、会員の皆様から次のようなご投稿を広く募ります。気軽に奮ってお寄せ下さい。

1 中四会員紹介

この企画ではそれぞれの実践現場の様子を紹介していただき、会員相互の交流や理解を図れたらと思います。会員のみなさまからの自薦他薦大歓迎です。是非みなさまの職場の様子、臨床発達心理士資格を取得して想うこと等、お寄せ下さい。また、編集委員から依頼させていただきました折には、趣旨にご賛同いただきご協力願えましたら幸いです。

2 耳より中四情報

会員の方にお知らせするとよさそうな臨床発達心理関連の研修会、図書情報等を200字程度でお知らせ下さい。

中四会員紹介・耳より中四情報のご投稿
及び会報・ホームページに関する
ご意見・ご感想などの宛先:
inoki@pu-hiroshima.ac.jp

(編集委員会)